

こどもを対象とした景観教育の事例について
【こども町並み観察隊】



函館市都市建設部
都市デザイン課

こども町並み観察隊とは？

都市景観とは、市民の日常生活や都市活動の積み重ねによって、ゆっくりと長い時間をかけて形成されるものであり、その主体者である市民の継続的な取り組みがもっとも必要とされるものでもあります。

そこで、「こども町並み観察隊」では明日の函館を担う小学生に、町並みを観察し考える機会を提供することにより、今後の都市景観形成の主体者としての意識づけをすることを目的としています。

「こども町並み観察隊」

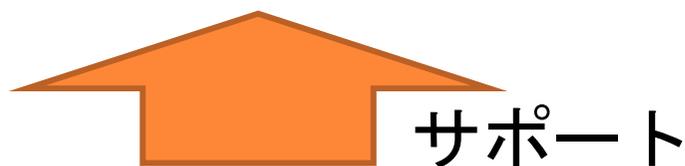


親しみをこめて「こまち」と呼んでいます。この「こまち」を通して「函館」というまちに関心を持ってもらい、町並みをより良くする方法を考えながら、日々自分たちが暮らす「函館」を一層好きになって欲しいと願っているのです。

こども町並み観察隊の概略

活動のプログラム

- 1 オリエンテーション・事前学習
(6～7月, 総合的学習の時間)
- 2 町並み観察 (7月, 宿泊研修の研修活動時間を活用)
- 3 レポート作成 (8～9月, 総合的学習の時間)
- 4 報告会 (9月)



チームリーダー

はこだて未来大学の学生がチームリーダーとして参加し、児童の観察・取材活動やレポート作成をサポートします。

ステップ1 オリエンテーション・事前学習

(サポート役のはこだて未来大学生の皆さんと交流を深めます。)



ステップ2 観察活動（町並み観察）

（いろいろなところを観察したり，取材します。）



ステップ2 観察活動（町並み観察）

（交流と親睦を深めるため大学生を交えて，ゲームや食事をします。）



ステップ3 レポート作成

(大学生リーダーのアドバイスをいただいてレポートを作成します。)



ステップ4 報告会

(ポスターセッション方式で各班ごとに工夫を凝らした発表をします。)

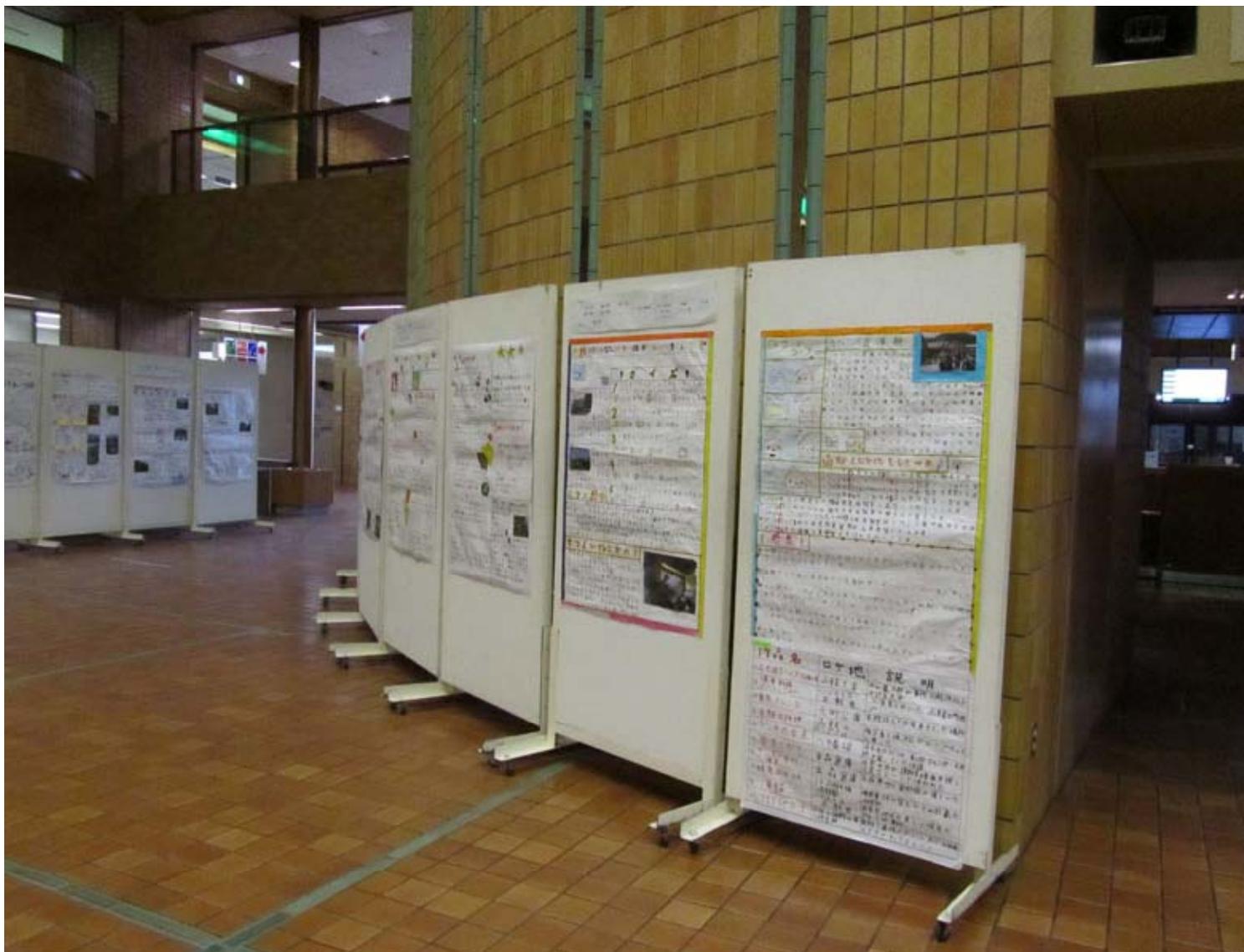


ステップ4 報告会

(報告会には、大学生や観察活動でお世話になった方も参加します。)



こども町並み観察隊活動パネル展



こども町並み観察隊活動報告書

第15回

こども町並み観察隊

～函館の良さを知ろう～



参加校：函館市立桔梗小学校

協力：公立ほこだて未来大学

洋行・情報科学部ア・行方学科デザインコース

主催：函 館 市



「こども町並み観察隊」の事業実績

「こども町並み観察隊」参加状況

平成9年度から平成18年度までの10年間

参加校 22校

参加人数 326人

平成19年度から平成23年度までの5年間

(※ 公立はこだて未来大学とのタイアップ)

参加校 5校

参加人数 281人

現在では、各小学校において町並み観察や地域調査を、総合学習を活用しての活動に組み込んだり、宿泊研修の中で取り組まれるなど、学校独自で実施する傾向が高くなってきました。



景観に対する啓発事業の効果が浸透し、一定の見通しがついたと判断し、当該事業につきましては、昨年度で終了しました。